

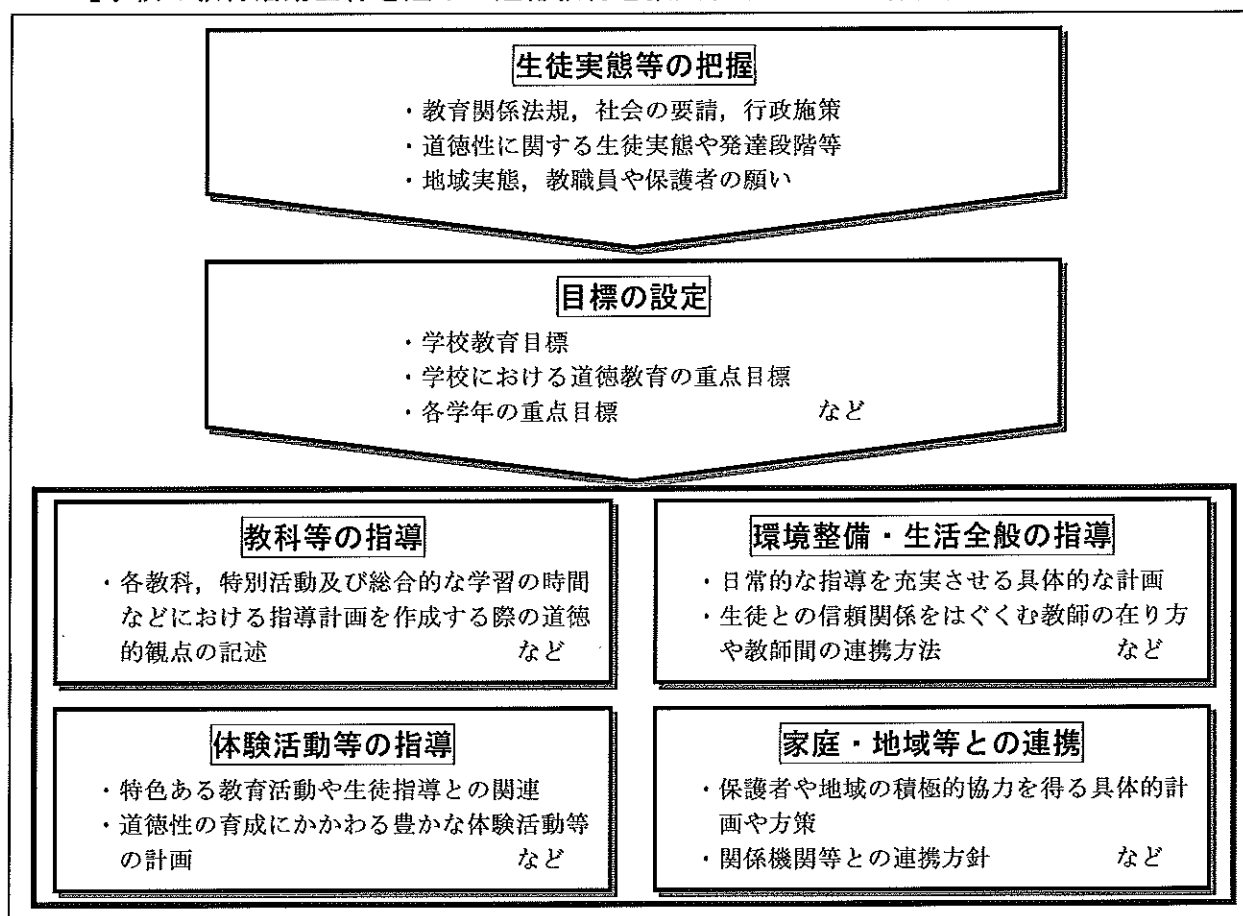
## 5 高等学校における道徳教育(平成20年度広島県教育資料から抜粋)

道徳教育は、高等学校においても、小・中学校同様に学習指導要領の第1章総則にその目標が示され、その中で「人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行う」ものとされている。

人間としての在り方生き方に関する教育においては教師の一方的な押し付けや単なる先哲の思想の紹介にとどまることのないように留意し、人間としての在り方生き方について生徒が自ら考え、自覚を深めて自己実現に資するように指導の計画や方法を工夫することが重要である。

そのためには、すべての高等学校において、それぞれの特色を生かした道徳教育についての意図的・計画的な実践がなされるよう、学校としての指導の重点や方針を明確にし、道徳教育の全体計画の作成や各教科や特別活動、総合的な学習の時間における指導内容を道徳教育の視点から整理し確認する必要がある。その過程において、教職員全員が学校のビジョンや目標、育てたい人間像に対する共通認識をもって日々の教育活動にあたることが大切である。特に、公民科の「現代社会」及び「倫理」、特別活動にはそれぞれの目標に「人間としての在り方生き方」を掲げており、これらを中核的な指導の場面として指導の充実を図る必要がある。

### 【学校の教育活動全体を通じて道徳教育を推進するための全体計画作成の手順(例)】



高等学校における道徳教育全体計画(例)は、平成18年度広島県教育資料P24を参照

○高等学校における道徳教育全体計画（例）

（県立松永高等学校）

道徳教育全体計画

日本国憲法  
教育基本法  
学校教育法  
教育関係諸法規  
学習指導要領  
県教育委員会  
の教育目標  
時代や社会の  
要請

学校の教育目標  
文化・教育活動の拠点校として、地域の人材を  
育て、地域から期待される学校づくりを進める。

生徒の実態  
・教職員の願い  
・保護者の願い  
・地域社会の実態

校訓  
真・善・美

道徳教育の目標

- 1 人間尊重の精神と生命の尊さを理解し生命に対する畏敬の念を培う。
- 2 奉仕の精神をもって地域社会に貢献する態度を養う。
- 3 道徳的行為が自発的・自立的に生起するような道徳性を養う。

実践目標

- 1 挨拶から始めよう
- 2 きれいな学校私がつくる
- 3 学びがいのある学校づくり

各年次の重点目標

1年次	2年次	3年次
1 望ましい生活習慣を身につけ、ものごとに積極的に関わり合いの態度を養う。	1 多様な体験的活動を通して、自己を尊重し、共に生きていこうとする態度を育てる。	1 社会の一員としてよりよい社会の実現に尽くせるよう、規範意識や公徳心を育てる。
2 お互いの人格を尊重し、思いやりや規範意識を育てる。	2 自ら学び、考え、責任ある行動がとれるように育てる。	2 よき社会人・地域の人材となるための基礎（知・徳・体）を育てる。

クラス・学校の環境の充実  
整備や生活全般の指導

- ・美化活動や奉仕活動を通して、集団の中で自分の役割を自覚しその責任を果たそうとする態度を育てる。
- ・教室内の整理整頓心がかけ、豊かな感受性を育てる。
- ・校内の自然環境を整える活動を通して自然を尊み愛する心を育てる。

家庭・地域社会との連携

- ・「松高新聞」や「学年通信」で、学校の教育活動の様子を伝える。
- ・保護者・地域の方々の学校行事への積極的参加を呼びかけ、協力による学校づくりを実践する。
- ・地域の人材の協力を得て教育活動を展開する。

生徒指導体制の確立

- ・基本的生活習慣を確立する指導を継続的に行う。
- ・朝の昇降口指導の中で生徒に積極的に関わり合いをかける。
- ・社会のルールを守り、マナーを大切にする心を養う。

心の書きとめ・ノート活用

- ・行事、体験活動に参加した自分の気持ち、感想を文章にあらわしてみる。また、それをひとことまとめておく。

特別活動における道徳教育の指導

HR活動	HR集団において望ましい人間関係を確立し、集団の一員としてのあり方を考え、当面する諸問題に主体的に関わり合いの態度を育てる。
生徒会活動	自発的・自立的な活動を通して自主性や社会性を身につけ、進んで学校生活の充実や改善向上を図ろうとする態度を養う。
学校行事	全校又は各年次を単位とした体験的活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主的・実践的な態度を育てる。

産業社会と人間

自己の生き方の探求活動、自己啓発的な体験学習や討論などを通して、職業の選択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養うとともに、自己の充実や生きがいのある人生を築くことを目指し、生涯にわたって学習に関わり合いの意欲や態度を育てる。

総合的な学習の時間

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。  
学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的・創造的に関わり合いの態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようになる。

各教科等

各教科等	・各教科の内容を習得させる。 ・人間としての在り方生き方を主体的に探求し、豊かな自己形成ができるよう適切な指導を行う。
国語	国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝達力や想像力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにする。
地理歴史	歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。
公民	現代の社会について公正な判断力を養い、人間としての在り方生き方についての自覚を育てる。
数学	数学的活動を通して創造性の基礎を培い、数学的な見方や考え方の良さを認識し、積極的に関わり合いの態度を育てる。
理科	自然を愛し、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。
保健体育	心身ともに健全な人間を育成し、仲間と協力し、明るく活力ある生活を営む態度を育てる。
芸術	芸術の幅広い活動を通して、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。
外国語	外国の言語や文化に対する理解を深め、積極的に関わり合いの態度を育てる。
家庭	家族・家庭と社会との関わり合いを理解し、協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
商業	ビジネスに対する望ましい心構えを身につけさせ、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。
情報	情報に関する基礎的な知識と技能を習得させ、情報モラルについても正しい認識を育てる。